

会 議 記 録			
会 議 の 名 称	決算特別委員会 産業建設分科会		会議場所 第2委員会室
			担当職員 三宅
日 時	平成25年9月26日(水曜日)	開 議	午前 10 時 00 分
		閉 議	午後 3 時 02 分
出席委員	福井 ○菱田 井上 馬場 小島 齊藤 日高 湊		
出席理事者	船越産業観光部長、山田産業観光部担当部長、人見ものづくり産業課長、奥村観光戦略課長 高屋まちづくり推進部長、古林まちづくり推進部担当部長、森都市計画課長、伊豆田都市整備課長、並河桂川・道路整備課長、橋本土木管理課長、中西建築住宅課長、佐藤都市整備課副課長、柴田桂川・道路整備課担当課長、藤本土木管理課副課長、中村建築住宅課副課長		
出席事務局	三宅		
傍聴者	市民1名	報道関係者 名	議員 名

会 議 の 概 要

10:00

1 開会（委員長あいさつ） 事務局日程説明

2 事務局日程説明

3 付託議案審査（事務事業評価選定項目を除く）

[産業観光部入室]

平成24年度亀岡市一般会計決算認定（第8号議案）
所管分（商工費）

[質疑]

< 井上委員 >

P162、宝探しゲームの委託先及び参加者数は。

< 観光戦略課長 >

現在、亀岡市観光協会に委託している。JR亀岡駅前を出発地として本町の町家カフェをゴールとして実施、昨年度約5千人の参加であるが減少しており、民間企業を通じたPRを課題としている。また猛暑の影響も考えられる。今秋から吊り広告等を予定しておりPRに努めている。城下町、商店街からは好評の声をいただいている。

< 井上委員 >

街中で見かける。地元亀岡を知ってもらうよい企画であり、地元小中学校を中心にPRに努められたい。

関連して、フェイスブックによる広報の効果は。

< 観光戦略課長 >

かめまるフェイスブックへの登録も1000人を超え、毎週金曜日に宝探しゲームのヒントを掲載するなどして活用している。今年は既に4千人以上の方が名札等のグッズを取りに来ていただいているが、ゴールされた方は2千人を超えていない。つまり、ゲームが難しいということであるが、ゴールされた時の達成感があり、今後もフェイスブック等を活用していきたい。またるるぶ亀岡の発行と合わせて現在、アプリを作成している。

<井上委員>

P163、かめまる体操制作・普及事業による展開は。

<観光戦略課長>

本市の観光PRを目的として制作したものであるが、体操サークルや敬老会へ貸出しており、自治会へも配付している。週に1回程度、貸し出しによる利用がある。

<井上委員>

非売品ということであるが、図書館への配置、対外的な配付は。

<観光戦略課長>

図書館、学校等に配置している。200部制作したものであるが、今後の取り扱いについて検討していきたい。

<井上委員>

ぜひとも拡充されたい。要望。

<馬場委員>

P159、企業立地奨励金に係り、補助金を食い逃げしてより条件のよいところに移転することを防止するための考えは。

<ものづくり産業課長>

現在の運用の中で、返還規定を設けることを考えている。より企業訪問等を通じて意見を聞きながら、本市に根付いてもらう取り組みに努めていきたい。

<馬場委員>

観光協会が担う分野と市の観光施策推進について考え方を。

<観光戦略課長>

観光協会は、26年4月1日に任意団体から一般社団法人に切り替わる予定である。観光協会は、市制施行10年後に発足された団体であり、観光担当課が事務局を担当し、観光協会と一体となって観光振興を図ってきた経過がある。両輪のごとく連携していかないと成り立たない事業であり、観光施策については、基本的には観光戦略課で考え、実践していくのが観光協会であると考えている。

<馬場委員>

NHK大河ドラマ誘致に係り、もっと柔軟な発想の受け止めは。

<観光戦略課長>

NHK大河ドラマに関して、目的はやはり観光振興、地域活性化であるので、そのような声が出てくるようならば、大河ドラマにこだわらずに考えていく。色々な機会を通じ、テレビ等で取り上げてもらえる取り組みを進めていきたい。

<馬場委員>

決算に占める商工費の割合が低いがどのように高めていくのか。

<観光戦略課長>

観光面に関して、議会からも色々意見をいただいている。最近では特に東京、大阪方面でのPRに努めている。予算要求し取り組みを充実させていきたい。

<産業観光部長>

行財政厳しい中、色々な施策を考え予算要求し、単費では困難な事業も展開してい

る。経済の活性化がまちづくりに最も課せられたことであると認識しており、今後も事業化に向け鋭意取り組んでいきたい。

<産業観光部担当部長>

従前では行政が全て行うかたちから、市民、団体等とのコラボ的な展開に方向を変えてきている。地元の行うことに行政が支援するよう、地元の意見を大切にしていきたい。観光面では観光戦略課という名の通り、市で戦略を立て実働は観光協会ではないと、資金集め等、行政では動きにくい面がある。企業誘致等においても、民間のノウハウを取り入れないと厳しい。各事業において中身を精査、濃くしながらよい提案を考え、その結果、予算も少しずつ増加している状況である。

<小島委員>

P 1 6 0、地域経済活性化対策事業に係る栗の先進地視察の内容は。

<ものづくり産業課長>

スローフード物語事業として、商工会議所で事務局をもって事業展開されているものである。中津川の栗の産地、栗の皮むき機等の工場を視察した。栗の生産、加工、流通のしくみを構築し、6次産業化、観光振興に結び付く施策の展開に向け取り組んでいる。

<小島委員>

生産者の姿勢や加工しやすい品種もあり、関心のある内容である。

<産業観光部長>

農業振興の立場で栗の特産化、6次産業化に向けた取り組みであり、事業の中でも栗の栽培への関わり、農園展開の研究も行っている。出荷、流通にすみ分けがあるが、市としては特産品としての栗の発信に向け、生産普及を支援するものである。

<小島委員>

P 1 6 1、休廃止鉱山の方向性は。

<ものづくり産業課長>

昭和59年度以降、市が事業処理している経過がある。その間、水質の問題等についても、一定安定してきており、今後のあり方について関係機関と協議していきたいと考えている。

<齊藤委員>

P 1 5 9、ふるさと雇用緊急支援助成金に係り、1社あたりの雇用人数は。

<ものづくり産業課長>

12社の企業で利用された。月に2人以上新規雇用された場合の2人目から助成する内容である。

<齊藤委員>

P 1 6 0、亀岡市中小企業者資金借入助成に係る補助率は。

<ものづくり産業課長>

対象を1千万円までの借り入れまで拡大し、助成額は4分の1である。

<齊藤委員>

るるぶ亀岡の制作に係り、八光館が入っている理由は。

<観光戦略課長>

お知らせ版で募集したほか、観光協会でも募集された結果によるものである。ただし、市内全体だけに向けたものではなく、大丹波連携、京都市を含め広域的な面で観光戦略を立てたものであり、美山、丹波マーケス等もマップに含めている。

<齊藤委員>

P 1 6 3、大河ドラマ誘致に係り、光秀だけではなく石田梅岩など他のテーマも含

わせて考えていくべき。要望。

< 菱田副委員長 >

観光 P R に係る市外に向けた現在の取り組みは。

< 観光戦略課長 >

現在、亀岡の四季を描いた 4 連のポスターの制作等を行っている。J R への P R の面では、高速道路に関連した掲載ができない等、制限がありネックがある。また、京都府の吊り広告にコスモス園が採用されたのも、市長のトップセールスに基づくものであり、今後も国、府の予算、事業も有効に活用していきたい。

府外に向けた P R としては、観光キャラバンを J R 京都駅、大阪駅、三宮駅、岡山駅、福岡駅、名古屋駅で実施した。また、京阪、阪急では、梅田駅、三条京阪、能勢口で実施した。その他、観光協会が鹿児島、福岡、熊本、横浜で観光キャンペーン、都庁での観光物産等を行った。

< 湊委員 >

P 1 6 2、伝統芸能保存育成事業補助金に係り、丹波音頭・踊り保存会への補助金 5 0 万円、その他 2 団体へは 5 万円、計 6 0 万円となっているが、その内訳の根拠は。

< 観光戦略課長 >

大踊り大会の実施、運営のため、その所要額として補助しているのが大きな理由である。その他の団体へは保存継承者への育成等に一部補助しているものである。

< 湊委員 >

現在の場所で大踊り大会を開催する所要額としては理解しているが、自治会等の意見を踏まえ、実施内容を変えるべきと考える。踊り大会は、自ら踊らないとおもしろくないものであり、若い世代は踊っていない。例えば、福知山の例のように、コンテスト式で、円を作り各企業により自由な踊り方で参加され、賞を決めるなどすると、大変華やかなものになる。ぜひ考えてもらいたい。また開催日を花火大会と合わせることもこの機会に検討願いたい。

< 観光戦略課長 >

総会でも色々な意見が出ている。今後のあり方を検討していきたい。

< 湊委員 >

市内にこだわらず、市外に向けた P R により、より多くの参加者が得られるはずである。

< 観光戦略課長 >

名古屋や札幌などの踊り大会でもコンテスト式で大変な盛り上がりとなっている。

< 日高委員 >

P 1 6 3、かめまる体操の普及に係り、商店街や運動会等、色々な機会に活用願いたい。かめまるグッズはどこで売っているのか。

< 観光戦略課長 >

本来ならば商工会議所の働きかけによりかめまるグッズ作成に関わる企業の拡充につなげてもらいたいが、オリジナルグッズは観光協会で作成、販売している。菓子やパンなど各事業者で独自に販売されている例もある。

< 日高委員 >

P 1 5 9、商工業振興対策経費に関連して、アウトレット誘致に関する考えは。

< 産業観光部担当部長 >

過去にアウトレット関連会社に打診した経過はあるが、エリア的に 5 0 万人の商圈が第一条件となり、京都市民は亀岡には来ないので商圈とならないとのことで、兵

庫には三田があり、大阪にもりんくうがある。打診後、竜王にできた経緯がある。

<日高委員>

スタジアムの建設、高速道路接続や423号整備を契機に、亀岡を宣伝するためにも再度働きかけをすべきでは。

<産業観光部担当部長>

検討する。

<ものづくり産業課長>

商店街、商店が疲弊している中、大型商業施設との共存も大きな課題であると考えている。

<井上委員>

かめまるグッズのネット販売等、販路拡大に向けた考えは。

かめまる体操の小中学校行事への活用やかめまる音頭等さらなる取り組みについて要望する。

<観光戦略課長>

観光マスコットであるので、PRには努めていきたいと考えており、ネット販売も検討したいが、生産量が少ないため、単価が中々安くならず、民間の活用を望みたい。かめまる体操は運動会でも現に活用されているところもあり、今後も活用を図っていきたい。

<井上委員>

学校への配付の状況は。

<観光戦略課長>

学校、保育園等に全て配付している。

[産業観光部退室]

～ 11:22

[休憩]

11:30～

[まちづくり推進部入室]

・まちづくり推進部長あいさつ

～ 11:37

平成24年度亀岡市一般会計決算認定(第8号議案) 所管分
(総務費～土木費・3項河川費まで)

・まちづくり推進部主管課長、順次説明(歳出一括)

～ 12:05

[休憩]

13:05～

[質疑]

<井上委員>

P168、自転車等駐車場経費に係り、並河駅前駐車場はほぼ100%の利用率であることから、増設する考えは。また、利用率の低い馬堀駅前、千代川駅前について、改善策は。

<土木管理課長>

並河駅前その他、自治会に指定管理しているメディアスの方は100%でないことから、現時点で増設する必要性はないと考えている。馬堀、千代川についての方策について、馬堀では近隣の区画整理、民間開発等による人口増が見込まれるが、現実としては難しい状況である。料金の引き下げを行った経過があるが、民間との均衡上、これ以上下げることにも困難である。公共交通の課題を踏まえると相反する面もあり、難しい課題である。

<井上委員>

P169、放置自転車の撤去に係り、放置自転車を防止する対策、今後の方針は。主の家への無償譲渡について、他の福祉団体等との整合性は。

<土木管理課長>

限られた委託料の中で、特に朝の通勤時間帯を中心に実施しているものであるが、イタチごっこのように難しい面がある。今後、インターネット等を通じてより啓発に努めていきたい。

他の団体からの要望がなく、主の家では障害者就労の糧とされており、市としても積極的に支援しているものである。

<井上委員>

P172、橋梁長寿命化修繕計画の策定に係る内容説明を。

<土木管理課長>

策定業務は、市内380橋に係り入札により民間のコンサル業者に発注したものである。その結果、約38橋については早急に修繕した方がよいとの結果もでており、特定財源を得ながら、鋭意積極的に修繕に努めていきたいと考えており、約5年のペースにより、再度の点検業務も実施していきたいと考えている。

<井上委員>

委託業者はどこか。

<土木管理課長>

国際航業株式会社である。

<井上委員>

P175、かわまちづくりに係る千本松の植樹について、台風18号による影響は。

<桂川・道路整備課長>

年谷川の一定の強度に耐える箇所への植樹であり、堤防を越えて影響を受けたということはなかった。

<馬場委員>

P171～172、道路新設改良費における明許繰越分は国の補正に伴うやむを得ないものなのか。

不用額の内容は。

P172、表中の北古世西川線の該当箇所の見方は。

犬甘野神地線は表中に記載がないが状況は。

<桂川・道路整備課長>

北古世西川線で進めてきた北古世地内からJRを越えて年谷浄化センターへ結ぶ農道の橋梁工事について、JR協議との兼ね合いで繰越となったもの、中矢田篠線の用地協議の難航により繰り越したものがあるが、大きなものは4路線ほど、国の補正に伴うものである。

不用額については、要望に対する国の内示が満額ではなかったことによるものが大きく、国の補正に関するものである。

北古世西川線については、2行目、6行目とも年谷川から亀岡駅側、2工区に係

る支出内容である。

事業中であるが、用地難航区間の了解に至らなかったので、24年度は事業を断念した。

<小島委員>

P171、認定外道路整備事業補助金11件に係り、繰越によらず自治会の要望が全てかなったということか。

<土木管理課長>

全て現年で完了したもの。東別院町、東本梅町、千歳町、旭町、保津町、畑野町の6自治会、計11件の実績である。

<井上委員>

宇津根橋の架け替えについて、今後の方針は。

<まちづくり推進部担当部長>

道路改良として完了した部分と同じ幅員、片側の歩道は最低してもらえるものと思っている。京都府では事業化に向けて準備をいただいているが、実施には至っていない状況である。

<齊藤委員>

P168～169、自転車等駐車場に係り、京都市では放置自転車が山盛りであったが、コインパーキングを整備した結果、これが当たり前となってきちっと駐車されている。本市においても、撤去台数の多いところに応じて回数、人数を増やすなど、区域ごとに対応を変えるべきでは。

千代川駅前にはぎわいがいないため、ロードレース向けの貸自転車の駐輪場を設置して利用率を上げるようことを提案したい。観光客誘致にもつながる。

<土木管理課長>

人数の配置は撤去台数の多い亀岡駅周辺に集中して配置している。

指定管理の中でも、協定において各協力要請に応じる旨を結んでおり、例えば観光協会からの要請があれば積極的に協力に応じることとしている。

<日高委員>

P167、交通安全対策費の公衆街路灯に係り、LEDは新しいところだけしか設置しないということか。

<土木管理課長>

取り替えや新たに設置する場合はLED灯としている。

<日高委員>

P171、街路灯管理経費に係り、加舎の郷カントリー付近の府道に設置している街路灯の電気代を畑野町が負担しているが、京都府が管理していないと電気代は市で負担することとなるのか。

<土木管理課長>

ゴルフ場の建設時の経過では地元の要望により設置されたもので道路照明等ではなく、公衆街路灯の取り扱いとなり、京都府で管理、負担されないものと認識している。

～ 13 : 30

(土木費・4項都市計画費～)

・まちづくり推進部主管課長、順次説明(歳出一括)

～ 13 : 57

[質疑]

< 日高委員 >

P 1 8 4、安全なわが家の耐震化促進事業に係り、耐震診断士を派遣して耐震診断した件数が30件、その後耐震改修事業補助金を交付したのが14件ということか。

< 建築住宅課長 >

そうであるが、年度はずれている。

< 日高委員 >

対象戸数は何件あるのか。

< 建築住宅課長 >

平成20年に耐震改修促進計画を立て、それに基づき事業実施しているものであるが、その時の対象住宅が2610件、平成15年の住宅土地統計調査による抽出から導き出した件数である。

< 日高委員 >

その対象戸数からすると耐震診断の実績は少ない。推進に向けた考えは。

< 建築住宅課長 >

目標に対してはまだまだ至っていない現状であり、市としてもより多くの方に周知できるよう、広報、啓発に努めている。

< 日高委員 >

昭和56年以前の対象住宅は、ある程度集中していると思われる。全戸配布よりも集中的に周知徹底を図るべきであり、モデル的な取り組みも進められたい。要望。

< 井上委員 >

P 1 8 1、緑花推進経費に関連し、クニッテル通りの花壇のすきまを通行して危険な状況となっているが、その対策は。

< 土木管理課長 >

4車線のミスタードーナツ付近から西友側へ向かう箇所と理解するが、これまでも何回も植栽等を行っているが、最終的には市民のマナーであり、イタチごっことなっている。防護する必要があるので、杭等で対策を考えたい。

< 井上委員 >

マナーを守る啓発を願いたい。

P 1 8 3、住宅管理経費の野条一戸建住宅風呂設置に係り、一戸建市営住宅は何戸ほどあるのか。

< 建築住宅課長 >

市内31戸ある。野条地域には4戸あり、そのうちの1戸について風呂がないため設置したものである。

< 井上委員 >

1戸建住宅の所得要件等は。

< 建築住宅課長 >

地域の道路改良事業等で立ち退きとなった方がほとんどであり、他の市営住宅とは状況が異なっている。

< 馬場委員 >

P 1 7 7、亀岡駅北地区まちづくり構想策定事業費に係り、調査、測量、設計委託料の委託先は。

成果、実績にある亀岡駅北周辺地区の調査について、どこを指すのか。

< 都市整備課長 >

株式会社玉野総合コンサルタントに委託した。

亀岡駅北側、一部線路の南側を含め、17.2haで区画整理事業を計画している。区画整理事業で補えない周辺地域を含めまちづくり構想を策定するため、区画整理事業地区内外を対象として検討している。

< 齊藤委員 >

駅北地区の整備にあたり、駅南側との整合性を考慮されたい。

P185、市営吉川住宅整備に係り、今後の方向性は。

< 都市整備課長 >

南側にはサティ、西友や商店街もあることから、南側の商業に負担、干渉しあわないような施設を配置していこうという協議を関係者間で行っている。ただし、駅北に向かう沿道商業のようなものは配置する計画となっている。

< 建築住宅課長 >

現在75戸あり、56戸が入居中である。アンケートでは現在のところで入居し続けたいという意向であり、下水道を含め施設改修を進め、周辺環境を整えていくことで、新たな入居、新たなコミュニティの形成ができる観点から、できる限り、現入居者のまま、環境整備を進めていきたいという考えで事業を進めている。

< 湊委員 >

P180、亀岡運動公園の工事請負費に係り、業者決定についての説明を。

< 都市整備課長 >

3件発注しており、全て指名競争入札で実施している。落札業者は亀岡労働建設企業組合、沼田工務店、星和電機の3件である。

< 湊委員 >

台風18号被害に関連し、常襲地域における対応について今後の方針は。

< まちづくり推進部担当部長 >

庁内横断的に方向性を協議している。河川改修が第一であるが、市街地における雨水排水計画により事業を進めていく必要がある。これまで汚水処理を重点的に整備してきたが、雨水処理とを連携させながら事業推進すべきであり、雨水処理に力を入れていきたいと考えている。また、民有地を含め、水を貯めおく施策も必要と考えている。

< 湊委員 >

低いところをいくら雨水排水してもままならず、根本的には変わらないと思う。駅北の区画整理はどのように考えているのか。

< まちづくり推進部担当部長 >

市としては、治水安全度を下げず、新たな治水対策を打っていく、上流側で一定の対策を講じる必要がある。

< 齊藤委員 >

定例会でもいろは呑龍トンネルについて質問したが、桂川に係る予算を上流部に充てるよう、国、府に要請すべき。

< まちづくり推進部担当部長 >

呑龍トンネルは基本的に貯留施設であると理解している。桂川改修促進においては、上下流均衡のとれた治水対策が必要であり、まずは早期の下流域改修により、上流部を改修するよう、要望活動を行っている。

< 馬場委員 >

亀岡の水は亀岡で処理する観点から、森林や農業を含めまちづくり全体としてがんばってもらいたい。要望。

~ 14 : 26

[休憩]

14 : 35 ~

(歳入一括)

・まちづくり推進部主管課長、順次説明

[質疑]

なし

~ 14 : 50

[まちづくり推進部退室]

4 事務事業評価

< 福井委員長 >

明日の事務事業評価について、事務局の説明を求める。

[事務局、事務事業評価資料配付。資料内容及び評価の流れを説明]

< 福井委員長 >

各委員、事前に資料内容を確認した上で明日の事務事業評価に臨みたい。

よろしくお願いします。 < 了 >

~ 散会 15 : 02